

美術科 年間指導計画

美術 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力、豊かな情操を培う。

1 学年 （年間 45 時間）

美術 第 1 学年の目標
①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現活動を工夫して表すことが出来るようにする、
②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練る。また、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
③楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

参照：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）

月	単元名	指導内容	評価材料
4	・オリエンテーション	・美術との出会い ・3 年間の美術について ・授業内容や評価について	・授業の様子 ・ワークシート
5	・見つめて、感じて、描いて （表現：デッサン）	・鉛筆や絵の具の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ・身近なものを見つめて感じ取った形や色彩、美しさやイメージから主題を生み出し、構想を練る。	・アイデアスケッチ
6	・なぜか気になる情景 （表現：絵）	・作者の表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を広げる。	・ワークシート （振り返り、鑑賞シート、ロイロノート含む）
7	・絵の中にある物語 （鑑賞）	・構図や色彩、描かれている人や事物から作者の心情や意図、表現の工夫を考える。 ・感じたことや考えたことをプレゼンテーションし、見方や考え方を深める。	・クロッキー帳 ・作品（制作過程含む）
8	・美術館へ行こう	・作品鑑賞と美術館の役割について学ぶ	・授業の様子 （発言、観察など）
9	・デザインや工芸との出会い ・文字が生み出すイメージ （表現：デザイン / 鑑賞）	・デザインや工芸との出会い ・色彩のしくみ 色彩の基礎 ・日常生活の中にある工夫された文字のデザインについて。伝達することを視点とした表現について理解し、工夫して表す。 ・形や色彩の効果、分かりやすさなど調和を考えてデザインする。	・定期考査
10	・祭りを彩る造形 （表現：工芸 / 鑑賞）	・日本各地や世界に伝わる祭りの造形物を鑑賞し、それぞれの特徴や造形物に込められた人々の願いなどについて考える。	
11		・テーマをもとに表したいイメージを膨らませ、張り子の技法を用いてお面を制作する。	
12			
1	・つなげて広がる模様の世界 （表現：デザイン / 鑑賞）	・目的や条件などを基に自然物や人工物などの形や色彩の特徴を捉える。 ・形や色彩の特徴を捉え、単純化や強調などをして構想を考える。 ・装飾の目的や模様の文化について理解を深め、生活を豊かにする美術の働きについて考える。	
2		・作者の心情や表現の意図と工夫について考え、見方や感じ方を広げる。	
3			

美術 第 2 学年の目標

- ①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- ②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできるようにする。
- ③主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

参照：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）

月	単元名	指導内容	評価材料
4	・オリエンテーション	・第 2 学年の美術について ・授業内容や評価について	・授業の様子 ・ワークシート
5	・ひと目で伝わるみんなのデザイン （表現：デザイン）	・身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ・ひと目でわかり、場所や目的に合ったデザインについて考え、形や色彩などと調和をとりながらデザインする。	・アイデアスケッチ ・ワークシート （振り返り、鑑賞シート、ロイロノート含む）
6	・その一枚が人を動かす （鑑賞）	・伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図や工夫を考え見方や感じ方を深める。	
7	・しぐさで語る動物たち （表現：絵や彫刻など）	・動物の生命感や躍動感、表情やしぐさなどから表現の主題を生み出す。 ・主題を基に材料や用具の特性を生かし、動き出しそうな動物の姿を追求しながら立体に表す。 ・作者の心情や表現の工夫について考えるなどして見方や感じ方を深める。 ・心で捉えた感情やイメージなどから主題を生み出す。	・クロッキー帳 ・作品（制作過程含む） ・授業の様子 （発言、観察など）
8	・美術館へ行こう	・作品鑑賞と美術館の役割について学ぶ	
9	・日本文化との出会い （鑑賞） ・浮世絵っておもしろい （鑑賞）	・日本美術作品のよさや美しさをどのようなところか、ジャポニズムの表現の特色や美しさを考える。美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造などについて考える。 ・グループごとに活動し、考えたことや感じたことをプレゼンテーションする。	・定期考査
10	・自由な視点で風景を見つめる （表現：絵 / 鑑賞）	・見上げる、見下ろす、近づくなど視点の位置による見え方の違いをもとに印象の変化を全体のイメージで捉える。	
11		・絵の具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を工夫して表す。	
12		・視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化をもとに主題を生み出し、表現豊かに構想を練る、	
1	・日本の技と心を受け継いで （表現：デザインや工芸 / 鑑賞）	・自然や季節感を取り入れた日本の伝統美術や工芸品のよさや特性について理解する。	
2		・主題を基に材料や用具の特性を生かし、形や色彩を工夫して表す。	
3		・四季折々の美しさを感じ、暮らしに取り入れて楽しんできた日本の美意識を味わったり、作る活動を通して、生活の中で季節感を楽しむための美術の働きについて捉える。	

3 学年 （年間 35 時間）

美術 第 3 学年の目標
①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりできるようにする。
③主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

参照：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）

月	単元名	指導内容	評価材料
4	・オリエンテーション 社会に生きる美術の力	・第3学年の美術について ・授業内容や評価について ・さまざまな角度から美術の役割を考える。	・授業の様子 ・ワークシート
5	・あの日を忘れない（鑑賞）	・絵に込められた表現の意図と創造的な工夫、社会における美術の力について考える。 ・形や色彩などが感情にもたらす効果や物の組み合わせや構図を基に全体のイメージや作風を捉える。	・アイデアスケッチ ・ワークシート （振り返り、鑑賞シート、ロイロノート含む）
6			
7	・わたし自身を見つめて （表現：絵 / 鑑賞）	・自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情の効果などを考え心豊かに表現する、 ・材料の特性をいかし、意図に応じて表現方法を創意工夫して表す。 ・作者の心情や表現の意図と創意工夫などについて考えるなど見方や考え方を深める鑑賞活動に取り組む。	・クロッキー帳 ・作品（制作過程含む） ・授業の様子 （発言、観察など）
9	・仏像の姿に見る人々の祈り（鑑賞）	・美術文化の継承と創造について考えながら鑑賞し、見方や感じ方を深める。 ・形や材料の性質、顔や手の表情など、仏像彫刻の美しさを感じ取り愛情を深める。	・定期考査
10	・思いを込めた卒業記念品 （表現：工芸・絵や彫刻など）	・構成や装飾の目的や条件を基に、使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、洗練された美しさ等について考え構想を練る。 ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求する。 ・形や色彩、材料の質感などが感情にもたらす効果などを基に全体のイメージで捉えることを理解する。	
11			
12			
1			
2			
3	・魅力を伝えるパッケージ （表現：デザイン / 鑑賞）	・伝える相手を想定し、目的や条件、なかみのイメージなどを基に主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。 ・伝達のデザインの表現の意図や創造的な工夫を考え見方や感じ方を深める。 ・自分の作品についてプレゼンテーションし、デザインの目的や効果など、伝達の効果について理解を深め、見方を広げる。	